

1 才児:シールをペタッ



保育者に「青と緑、どちらの色にする？」と聞かれると、シールを見て指をさしたり「こっち!」「みどり」と言ったりして好きな方を選び、自分で台紙から剥がして自由に画用紙に貼っていました。



どの子どもとっても真剣な表情で、指先のシールを見つめていました(一人10個貼りました)

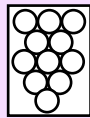


シールを台紙から剥がすことも、シールを親指と人差し指で上手につまんで貼り付けることも、集中力や指先の発達につながります。つまんだり剥がしたりが難しい様子の子も、保育者が台紙を少し折り曲げてあげたり、画用紙を押さえてすれにくくしてあげたりと、ちょっとした手助けでしっかりと貼り付けていました。



のり 2 才児:初めてののり体験

紫と黄緑の2色の丸い画用紙から好きな方を選び、でんぷん糊を指に付けて○が描かれた画用紙に貼りました。



初めてののりを使ったので、最初に保育者が手を添えて「(糊を)ちゅんちゅんって指につけて、ここに塗っていくよ」とやり方を伝えると、一生懸命人差し指を立てて塗っていましたよ。

指先にのりが付いてべたべたするのか、手のひらを見せて困ったような表情を浮かべる子もいましたが、「のり付いたね。後で手を洗うから大丈夫だよ」と伝え、安心した様子で制作を続けていました。

画用紙を貼っていく中で、丸が並んだ形からぶどうのイメージが湧いたのか「ぶどう!」と言葉にしたり、保育者が何も言わなくても丸い画用紙を○の中に収めて貼ろうとしたりする姿がありました。



黙々と、集中した様子でのりを塗り、土台の画用紙に貼り付けていました



糊で指が汚れるのが苦手な子はスティック糊で貼りました



美味しそうなぶどうがたくさんできました!

廊下に掲示していますので登園時にぜひご覧ください